

# 子どもの未来応援ネットワーク強化事業（令和5年度当初予算）

予算額 10,228千円

## 現状と課題

### 現状

- ◆ 困窮家庭は13.2%、周辺家庭は18.2%  
困窮家庭の保護者のうち子ども食堂を利用してみたい者は44.1%  
学習支援を利用してみたい者は70.1%  
(H30 県「子どもの生活実態調査」)
- ◆ 子どもの貧困対策推進計画を策定している市町村は 19市町村に留まっている。(R4)
- ◆ 青森県の子ども食堂の充足率（子ども食堂のある小学校数/小学校数）は16.67%であり、全国43位と低い状況にある。  
(R4 NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ調査)

### 課題

- ◆ 困っている状態であるということを感じていない又はSOSの出せない子どもや保護者を支援するための仕組みが不足している。
- ◆ 市町村の子どもの貧困対策への取組が不足している。
- ◆ 県、市町村、民間団体等による支援体制の強化を図り、連携しながら、子どもの貧困対策に取り組む必要がある。

## 事業内容

### 【概要】

貧困などの様々な課題を抱える子どもや保護者への支援が届くようにするため、関係団体のネットワークを強化するとともに、子どもの居場所づくりコーディネーターのスキルアップ等を目的とした研修を開催し、県内におけるこどもの居場所づくりを促進を図る

### 子どもの貧困対策の支援体制の強化

#### (1)子どもの貧困対策ネットワーク会議の開催

- ・市町村や教育委員会、子どもの居場所運営団体、子ども居場所コーディネーター等、関係団体が一丸となって、子どもの居場所や学習機会の提供、アウトリーチ支援など、支援のあり方の検討等を行う会議を開催し、あおりこどもの居場所ネットワークも活用した支援の推進体制を強化する。

#### 実績

- ・ 令和5年10月27日開催

#### (2)子どもの居場所づくり推進体制整備研修会の実施

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により子どもの居場所を取り巻く状況が変化している。
- ・ そのため、こどもの居場所の開設希望者と地域の社会資源（フードバンク、民間助成金、ボランティア等）を結びつける役割を担う令和元年度事業で養成した「子どもの居場所づくりコーディネーター」のスキルアップ等を目的とした研修を実施し、子どもの居場所づくりのさらなる促進を図る。

#### 実績

- ・ 1回目 9月26日開催
- ・ 2回目 10月18日開催
- ・ 年度内にあと3回 計5回開催予定



## 事業効果

県、市町村、関係団体による一体的な支援と取組の推進によって、支援を必要としている子どもや保護者への支援体制を強化することができる。

### 具体的な事業成果

- ◆ 子どもの居場所関係者による支援の推進体制が強化
- ◆ 子どもの居場所数の増加
- ◆ 子どもの貧困対策計画を策定している市町村数の増加
- ◆ 子どもの貧困対策の取組増加



困窮家庭の割合減少

### 【今後の方向性】

支援を必要としている子どもや保護者への支援を継続する。